

「魅力的な生き方がし」～ビブリオトーク～

挑戦問題 『あなたはいくつの人生を知っていますか』

本単元で育成する資質・能力

感謝・貢献 責任・使命 挑戦・探究 協力・協働 思考・表現 情報収集・判断 知識・技能

期待される生徒の変容

生徒の会う「運命の本」は、あえて生徒の興味を持ったことのない人物に関する本とし、その中の登場人物の生き方を深く読み取らせる。読み取った情報を、クラスの仲間を紹介することによって、表現力の向上を意識させ発表することによって、参考にした先輩のDVDや友達の発表と自分の発表内容を比較し、自分の表現力の向上を実感させる効果が期待される。

中学校入学後の最初の総合の単元として、「ビブリオトーク」で出会ったさまざまな生き方や、あきらめず挑戦することのすばらしさの価値を学び、自分の生き方につなげて考えようとする態度を育てる。

令和元年度の取組より

Before 【生徒の振り返りシートより】

- ・いろいろな問題も、友だちと協力して取り組めば、問題が解きやすくなるということが分かった。
- ・初めてのビブリオトークで、どんなことを書けばいいのか分からなくなりましたが、先輩方のように分かりやすく伝えられるようになりたいです。
- ・私も見ている人が楽しめるようなフリップを工夫してつくりたいです。
- ・まだうまく書いていないので、運命の本についてもっと詳しく調べて、完成させたいです。
- ・もう少しフリップに工夫をしたいなと思いました。また、発表でも目線を上げて練習をしていこうと思います。



運命の本渡し (小)

After 【振り返り】

- ・「協力・協働」の力が身に付きました。友だちとフリップを見せ合って「ここはこうの方がいいんじゃない」と言ったり、「こうの方がいいと思うよ」と言われたりして、自分の課題を見つけ出すことができました。「その課題を直そう」や「他に課題はないかな」と考えることができました。
- ・初めはいやだなあと思っていたけど、最後まであきらめずに苦手なことを貫いて、今日までビブリオトークをがんばることができました。文をまとめることも絵を描くことも、読み方を練習することも、何事もあきらめずにやったら、だんだん上手になってきました。本番は僕の母さんを感動させるようにがんばりたい。
- ・自分の考えを深めることができたか、はまだまだできていなかったかなと思います。でも、前田健太さんの生き方を知ることによって、前田さんへの見方が変わったし、私自身も変わったと思います。だから、本番でも、前田さんへの見方が変わるような伝え方をしたいと思います。2学期には、前田選手が言い続けた「僕はまだ全盛期じゃない」という言葉を思い出し「自分をもっと高いレベルを目指せるぞ」と思い続けながら、自分の限界までやり続けたいと思いました。



フリップ作成

令和2年度指導計画・ワークシートの改善のポイント

- ・本番では保護者からのコメントをもらい、学級通信で生徒に伝えることができ、達成感を持たせることができた。
- ・本年度は小学校の先生と連携し、個々のレベルを考慮して、小学校6年生3学期に運命の本を選ばせた。そのため、4月からの取組に時間的余裕ができ、一人一人の発表内容を指導することができた。

- で、この手法は来年度も踏襲した方がよいと考える。
- 来年度は、図書館担当と連携し、本の選定を再考していくべきであると考え。